

平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 21 日（木）
開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 25 分
場所：南大社研修センター
参加者：男 25 人、女 4 人 計 29 人
町職員：町長、副町長、教育長、総務部長、財政課、政策課

○懇談

男性 畑は住宅にできないのでしょうか。高見台の北、三岐鉄道に囲まれた地域ですが、畑でも色がついてないところ。田んぼは全部黄色ですけど、昔の大長駅の西あたりで白地になっています。

男性 あそこは調整区域になっています。私調べたんです。北大社に住宅ができていて、なぜ南大社にできないのか、調べたんですけど、北大社は住宅地域から 1 キロの範囲内で指定を受けてできたそうです。高見台は住宅指定の地域指定になってないみたいです。あそこを住宅地域指定にすれば、南大社も開発できるということはわかっています。

町長 これができるのかどうかは、調べてみます。実は現状できないことを今やろうとしています。

男性 例えば開発しようとするれば、現状は法律でがんじがらめなのでできないですが、やろうと思ったら何ができるかを考えると、何かの特区の指定事業にあてはまることをできないかと、何かをしない限りは今の農業振興地域を開発することはなかなか難しいです。

町長 まず、都市計画のマスタープランを変えるということを今年やっています。その中でも調整区域の開発は非常に難しいのですが、法律の隙間が 1 つあって、三和地区で 80 戸くらいの住宅開発ができるかと思っています。

先ほどおっしゃられた場所は、南大社地区の唯一の白地ですか。

男性 あとは員弁川沿いに一部あります。

町長 できればまとまっていたほうがいいのですが、白地であれば可能性はあります。建設課と一緒に検討させていただきたいと思います。

男性 前回町長が、道路についていなべ市と話をしていると言われたと思いますが、その後はどうなったのですか。

町長 先日、いなべの市議会議員数人と意見交換しました。その中でその話がでたので、以前、市長からここ南大社から大安までの道路を整備してほしいと要請をもらったときに、どう考えても梅戸地区の人の方が、利益が多いので、いなべ市が半分出してくれるなら、東員町も半分出すよという話を持ち出したことを話しました。そうすると、議員さん方は、梅戸の人の利益を考えて、市長にもっと強く話をしますと言って帰っていかれました。何とか東員町の予算を少なくしながら道路が整備できるというなどは考えています。

男性 シニアクラブとしてお聞きしたいのですが、健康寿命を延ばす大きな目標があります。今行っている活動を自前でやってくださいといわれるのですが、今、健康体操で棒ピクスというのを3年計画で地域に密着させるようにと、町に支援していただいて取り組んでいます。これも来年にはなくなります。今まで社会福祉協議会にあったコピー機が使えなくなって有料になりました。今までやっていた印刷も有料になるということで、自前で何かをやりなさいといわれても非常にやりにくくなってきています。高齢者がどんどん増えていく中で、健康な方たちに上手に元気に過ごしてもらうような、町としての対策をどう考えてみえるのかお伺いしたいです。

町長 今後は、生活支援コーディネーターという人が、地域に入って色々な相談にのっていきます。また介護予防ということで保健師も入らせていただくように変わっていきます。国の法律が変わったことも含めて、地域の支え合いが大事になってきます。基本的には地域で色々なことをやらせよう、そのために生活支援コーディネーターが地域に入ってご指導をさせていただくということになります。予算的にはこれからも増えていくと思いますが、その中で今の形を変えて、地域のことに取り組んでいくしかないんです。シニアクラブに対する補助金もありますので、その中で、元気老人サロン事業のようなことをやっていただくのもかまわないです。地域でどうするかを地域それぞれで考えていただき、やってほしいと思っております。今日は長寿福祉課が不在なので、細かいことは説明できませんが、今の質問を持ち帰って、自治会長さんを通じて回答させていただきます。

女性 さきほど町長から学童保育所の場所を旧駐在所から移転すると話がありましたが、それは記念館のところですか。

町長 予定しているのは、郷土資料館が今ありますが、そこへ新しく建てようと考えています。あの建物は地震がくると崩れます。非常に危険ですので、壊そうと考えています。あの場所には駐車場もありますし、学校からも近くなるので、資料館を壊した場

所に学童保育所を移転し、人数が増えてもいいように対応したいと考えています。

男性 今の施設は、学童の施設の中で一番定員が多いと聞いています。これから児童が増えてくると思いますので、ぜひ大きめにさせていただきたいと思います。

町長 もう進めています。県にも補助金申請について話をしています。書類は時期がありますのでこれからですが、来年度行えるように進めています。

男性 東員町の人口が減るということですが、例えば安く住むような方法として、あちこちに空き家、空き地がありますが、そういう家を安く提供するとかを一つの案として考えるのはいかがですか。

町長 空き家については去年調べました。全国では13%くらいあり、8件に1件が空き家なんですけど、東員町は全国の半分くらいです。空き家といっても普段は空き家ですが、たまに来て管理しているのも空き家ですので、空き家の対象として、水道の栓が閉まっているものについて全部調べました。東員町に142件ありました。そのうち18件は危険な家屋という特定空家で、残り124件は使える空き家ですが、これを何とか使っていきたいと考えています。一つはリフォームして売るなり、貸すなりだと思います。今、笹尾西で保育園の跡地を売却して住宅開発しています。大和ハウス、ミサワホーム、トヨタホームが合同でやっていますが、この3社と、この開発だけでなく、東員町の空き家をあたって、できるものならリフォームして売るなどをできないかと話をしました。この3社は名古屋の情報を持っています。名古屋方面でも東員町に関心を持っている方が随分いらっしゃるけれど、東員町へ来たいと思っても住宅がないんだそうです。3社からは、リフォームした物件や空き地も含めて、住宅開発をしていきたいという話もいただきました。もう一つは、空き家の物件のデータを企業に持ち込みました。町内の大きめの企業ですが、ある企業に本社から出張で来る人やお客さんが結構あるそうです。今は桑名のビジネスホテルに宿泊されるのですが、それが企業にとっては結構お金がかかるし、宿泊も取りにくいそうです。その空き家を活用して、ゲストハウスにしてももらえないかという話を持ち込みました。そうすると、企業によっては社宅があるのですが、社宅を自分の工場の近いところにしたかったのでそういう物件を探してほしいという依頼をもらったりもしました。企業と話していると、空き家を活用してくれそうな情報が出てきました。ゲストハウスや社宅として企業が使ってくれば、掃除やまかないで地域の人に雇用が生まれます。まかないがあれば食材が入りますので、野菜や米は地域の農家の人と契約してほしい、という話もできます。そういうことに取り組もうとしています。空き家はネオポリスよりも在来地区に多いので、昔ながらの家を活用した取り組みができないかなと思っています。もう一つあるとすれば、地域の中で集まる場所、集会所ではなく、気軽に集まってお茶を飲もうよといった場所として、地域の空き家は活用できると思っています。またいい

アイデアがあったら教えていただきたいと思っています。

男性 東員第一中学校について、将来に向けて移転の計画はありますか。

教育長 東員第一中学校の移転といいますか、改築については私どもも課題としてとらえています。昨年一昨年と小中学校の適正規模適正配置検討委員会というのを2年間行いました。そこで提言いただきまして、学校を統廃合する基準として複式学級が見えてきたときには統廃合を考えますということと、一中は建ててから45年ほど経っていますので、早急に改築について進めたらどうかと提言をいただきました。その提言をもとに教育員会では今年基本方針を作ります。そして3年を目途に具体的にどうか結論を出していきたいと思っております。

男性 先ほどシニアクラブの会長さんも言われましたが、元気老人サロンを地域支え合い事業に移行したいということでしたが、これはおそらく人件費等で消えていくのではないかと思います。生活支援コーディネーターに来てもらっても、誰がどんな人をどのように集めるのかという具体的な行動については、シニアクラブとかそういった団体をうまく活用していきたいと思えます。そういうことができるなら、その団体に少しでもお金をやれないのかなというのが1点と、社会福祉協議会も見守りを推進しています。この事業と一緒にするのはと思うのですが、社会福祉協議会と町が同じ方向でやろうとしているように思いますが、どう整理されるのでしょうか。

それから、水道事業も耐震化となるとそれなりの工事内容になります。実際に事業をやる前にはもう少し明確になると思えますので、費用対効果などを事前にきちんと各地域で説明いただきたいと思えます。当然水道は必要な事業と思っておりますので、料金を増やすものについてはきちんとしていただきたいと思えます。

それから、人口減少は資料を見たらわかりますが、町として、当たり障りのない回答ではなくて、もう少しきちんとした、例えば企業であれば長期で収支などをきちんと計画されています。固定費と変動費があると思えますが、税収が今後こうなるから、今ある固定費をきちんと切り込んであるのか、職員数もありますよね。例えば議員の数を減らすとか、他市町村の人口や財政規模とかから見て、本当に東員町はこれでいいのか、固定費は本当に削るところがないのか、私たちは合併することなくずっと東員町でありたいと思っておりますので、そのためには自分たちの身を切ってもらうことも考えていっていただきたいと思えます。

町長 社会福祉協議会は行政のプレーヤーだと思っておりますので、同じ方向を向いて一緒になってやってもらうという位置づけをしています。今、社協さんが各地域へ出向いて行って地域座談会をやっています。その中で色々な話が出てきています。例えば、具体的に10月から中上でやることになった話で、オレンジバスが10月から見直しになります。見直前と見直し後も交通空白地というのは在来地区にはあります。これが

らもっと高齢化してくると、移動が不便になってきますので、社協の車を月1回借りて、ボランティアが運転してイオンまで送迎します。今はイオンだけですが、もっと利用が増えてくると、町内の医者まで送迎するといった話にもなってくるのかなと思っています。10月から半年間モデル事業としてやります。他の地域が手を挙げてくれば、日を変えてすることも可能だとも聞いています。社協さんには視点を变えて、プレーヤーとして役割分担をしていただいていると思っています。実際に地域で取り組むことはシニアクラブを中心にやっていただきたいと思っています。

水道事業ですが、給水原価と料金収入が、今は収入が上回っていますが、平成30年くらいに逆転します。工事をしていくと、給水原価はどんどん高くなっていきますので、その辺りで料金の見直しをお願いしようと思っています。実は東員町の水道料金は全国で下から数えて3番目に入っています。少し上げさせていただいても、まだまだ低い水準になるとは思っています。これは今まで一生懸命料金を抑えてきていただいたのと、東員町には大きな浄水場がないんです。それだけ水質がいいので、そういうところからも安く済んでいます。これからも料金はあまり高くないように努力はさせていただきますと思っています。

それから固定費の話で、職員数ですが、東員町は、同じくらいの規模の自治体の職員数と比べると非常に少ないです。少ないので増やそうと言っていたときに、国の行革もあって減らしていますので、そんなに増えていないんです。規模的には非常に少ない人数ですので、職員には頑張ってもらっていると思っています。行革は委員会でも色々な指摘をされましたので、もっともっと頑張っていかなければいけないのですが、かなり削りました。さらなる努力はさせていただきますとは思いますが、職員をこれ以上減らすと職員が大変なことになりますので、その点をご理解いただきたいと思っています。

副町長

補足をさせていただきますと、財政の関係で、財政課を中心に中期財政見通しというのを作成して、職員に対して研修会をしました。来年度予算を含めてこれから東員町として生き残っていくために、この財政の中で何をすべきかという話を職員にしました。これまでやってきた事業そのものをもう一回見直さないと、このままでは来年度予算も組めないのかなという危機感を持っていますので、議会とも議論をしながら、取り組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。